

令和2年度 第4回茂原市学校再編審議会 会議概要

- 1 日 時 令和2年9月16日（水）15時～16時45分
- 2 場 所 茂原市役所 市民室
- 3 出席委員 11名
中山会長、足立副会長、永山委員、中村委員、齋藤委員、村澤委員、
中村委員、中瀬古委員、壁委員、秋葉委員、平井委員
- 4 出席職員 11名
教育長 内田 達也
教育部長 岩瀬 裕之
教育部次長（教育総務課長） 渡辺 裕次郎
学校教育課長 金澤 勤
学校教育課主幹 金坂 暁
教育総務課長補佐 川崎 弘道
教育総務課副主幹 豊田 実
教育総務課総務係長 小安 宏尚
教育総務課学校再編推進室 紺野 晃弘
教育総務課学校再編推進室 深山 秀樹
教育総務課学校再編推進室 狩野 久志
- 5 傍聴者 5名

会議内容（進行：川崎補佐）

- 1 開会 午後3時
茂原市学校再編審議会条例第6条第2項に基づき、出席委員11名で過半数を達しており会議成立。
- 2 会長あいさつ
- 3 議事
条例により会長が議長となるため、議事は会長が進行となる。

報告（1）本納地区3小学校の保護者意見交換会について

事務局より【参考資料1】を用いて説明。

- 委員：新治小の保護者の意見のなかで、統合について、本納小と豊岡小、どちらへ統合してほしいという意見が多かったのか。
- 事務局：豊岡小を希望した意見を述べたのは一人だけだった。
- 委員：新治小は令和4年度には統合してほしい。新治小の保護者の意見では、中学校も選びたいとの意見もあった。保護者は統合には前向きであり、みんなと同じレベルの教育を受けさせるべきである。
- 議長：人数の多い学校にしてほしい。多様な意見に触れられないことは、子どもにとって可哀そうである。そのような気持ちが表れている。
- 委員：意見交換会に参加したが、新治小の保護者は全体的に統合には前向きであるように感じる。とにかく早い統合を望む声が多かったように思える。統合を進めるには準備が大切であるので、受け入れる体制は早くするべきである。先が見えないといけない。先が見えるような話をしてほしい。
- 委員：豊岡小について、昔からいる人は今のままがいいというのが率直な気持ちかなと。統合については、前回の会議で出た意見のように段階を踏んでいく方向がいいのかなと。
- 委員：豊岡小の意見交換会の日にちの設定には疑問がある。どうしてその日にちにしたのか。
- 事務局：学校とPTAと協議して決定した。人数が少なかったので再度開催する。
- 委員：新治小の保護者が心配しているのは、6年生が中学校にあがるときの不安がすごいということである。本納小、豊岡小も含めた交流会を開催しているが、それでも不安がある。早く統合するべきであると感じる。
- 委員：豊岡小については次の開催内容をみてからでないとはいえない。新治小は大多数が統合には前向きだと感じる。弊害が少ないなら年度途中でも統合するべきなのでは。学校選択制を導入してほしいとの意見は、豊岡小を意図しているのではないか。それは学区をまたぐ形となり難しいのではと思う。
- 委員：新治小の保護者は、水害が一面に載った新聞を見たり、また、本納小を建てる敷地からガスが出るという話などで惑わされているのではないかと思う。東郷小もボーリング調査をしたら、ガスが出たと話は聞くが爆発したとは聞いたことはない。統合する際は、学校を中心地にもってこることが基本的な考え方はある。そのように答申でも出している。本納小と隣接したところの用地を買収してという話だったが、崖の問題で早く移転する必要がでてしまった。時間を延ばせるのなら、もっと新校舎を建設するための土地を探す時間があればよかったのだが。
- 議長：それでは、他に意見がなければ、次に「議題（1）第二次実施計画における小中学校の具体的な再編方法について」事務局から説明をお願いいたします。

議題（１）第二次実施計画における小中学校の具体的な再編方法について

事務局より【参考資料１】を用いて説明。

【本納小、新治小】

委員：本納小の移転はいつになるのか、まずはそれを。そのあとに統合時期を決めるという事だと思うので、まずは事務局にお伺いしたい。

事務局：校舎は令和３年８月頃に校舎完成予定であり、そのため、翌９月から移転する予定である。

委員：保護者の意見に対してだが、本納小へはいやだと言われたい限り、新治小の本納小への統合はどんどん進めるべきである。令和３年９月に本納小が移動して、令和４年４月に新治小が統合するというのも良いと思う。

委員：年度途中での統合は校長の問題がある。人事の関係で年度途中での統合は難しいと考えるので、早くても令和４年４月ではないか。遅くても令和５年４月。それ以上は意見交換会の保護者の意見を生かしていないことになる。学校選択制は、先生たちの配置の問題も生じるのでどうなのかなと思う。学区をまたぐことは普通では考えられない。

委員：できるだけ早く統合すべきである。途中での統合は先生や卒業式等の問題もある。令和４年４月が良いのでは。開校や閉校の準備する期間も必要である。

委員：令和４年４月が良いのでは。保護者の意見をみると、地域の反対運動が強いように感じるが、そちらの話し合いについても進めていくことが大事であると思う。

委員：できるだけ早く統合してほしいという意見で、令和４年度を指定している意見の記載があるが、事務局が最短は令和４年ということを説明したのか。

事務局：できるだけ早くかつ一緒に統合という意見が出たので、年度途中は難しいこと、最短ということで令和４年という話はした。

委員：そうすると、前回の議題に上がっていた本納と新治をまずは進めていく。来年の８月に校舎が完成する。９月から本納小の子どもたちを先に入れて、年度の区切りとして新治小の統合を令和４年４月というふうにした方が良いのでは。

委員：年度途中での統合は難しいと理解した。新校舎に先に本納小が入って、後から規模が小さい学校が入るといった形よりは、本納小と同時期のほうが、子どもたちは打ち解けやすいと考えていたが、いずれにせよ、計画の中で優先となっている事柄を進めていただきたい。

委員：早急に統合してあげたい。準備については先生も役所の人も大変である。しっかり準備して、子どもたちが心配しないで入れる状態にしてほしい。令和４年４月の統合には賛成である。

- 委員：課題については、遠距離通学はスクールバス（4km以上）やその停留所について協議が必要であろう。一貫教育を実施しているところを参考にしながら議論をしていくという形になるのではないか。こういうふうにしていきましょうという議論は難しいのではないだろうか。
- 委員：一貫教育というのは新治小が入ってから開始するのか。それとも本納小が移転する令和3年9月からなのか。
- 事務局：今の計画では市内全体で進めていく予定である。現在、計画中であり今後お知らせしていく。中学校区ごとに一緒に進めていく考えであり、本納地区も同様に進めるが、3小学校と中学校で一緒に進めていくという形となる。本納小は中学校と同じ敷地内なので一貫教育が進めやすい部分はあると考えている。
- 議長：この辺の例で言うと長南小中があるがどうだったか。
- 事務局：事例はあるが、一貫教育は地域によって考え方が違う。茂原市では全体で進める予定である。

【本納小、豊岡小】

- 委員：参加者は少ないが、統合に反対する意見がほとんどである。次回開催してもほぼ反対かと思われる。統合時期は難しい。現在の児童数は188人であるが、推計をみると、令和17年で133人である。それを考えると早急な統合ではないと考える。
- 委員：保護者が反対なら統合は難しく、時間はかかるだろう。児童数の減少を見ていく必要がある。反対を押しつけていくことは難しい。保留する時期を考えるべきなのでは。
- 委員：保護者の意見をまとめられずに統合の時期の話をする段階ではないのではないかとと思う。まずは本納と新治を進めて、その先はもう少し時間が必要かなとも思う。
- 委員：今回の保護者の意見はすべて否定的である。しかし、第二次実施計画を令和2年度に策定するにあたり、人口推計で令和17年では、豊岡小は人口推計では本納小より減る。そうなるので早くに対策を講じるべきである。地域や保護者の意見は丁寧に聞く必要があるが、いずれにしても第二次実施計画では、豊岡小は組み入れる必要があるのではないかとと思う。計画年度である令和7年度までにまとまるような構想を立ててもいいのでは。
- 議長：今月再び意見交換会を行うそうだが、要望があったのか。
- 事務局：要望もあったが、参加者が8人では少ないと感じたため、再度の開催を検討し決定した。
- 委員：意見交換会の保護者のご意見はそうだなと思うことばかりである。説明会をし

でも同じような意見を占めるのではないか。3校を速やかに統合すると、校舎を新設するという答申だったが、校舎をどこに新設するか、豊岡小が入れるようなスペースがあるのか、運動場は確保できるのか、ということを考えると現実的ではない気がする。一貫教育は同じ敷地内でなくても可能なら、今の場所でもできると思う。令和7年度に統合させるべきなのか。

委員：学校に対する適正規模を定めている。このルールをどうするのか。今の子どもたち、未来の子どもたちを考えると、今の学校規模だとやはり十分な意見交換ができないとか、様々な考え方に触れたりとか、クラス替えができるとか、そういった環境を整えることが未来の子どもたちのためなのかなと思う。何を基準とするかをもう一度考え直すべきではないか。

議長：人数的には統合すべきであるというのは、国の基準に沿って茂原市における適正規模を定めたというものに沿って考えるという事は大切だと思う。

委員：基準にもどるべきではないだろうか。減ってからでは遅い。すぐに対策してほしいとなっても、今の様に何年もかかってしまっている。減っていくのではないかという予測がついているのであれば、こういう状況だからやっていかなければならないという事を保護者、地域の住民に説明して理解していただくことがまず第一である。なぜ統合しなければいけないのかを説明していかないと、「どうして統合するのか」「そんなところ行かなくていい」「今の人数が足りているんだからいいだろう」という意見が出てくる。見据えたかたちでやるべきだろう。

【早野中関連】

委員：早野中と南中の統合は早急にできるのではないか。

委員：学区の見直しがあるのでは。統合は賛成である。

委員：統合には賛成である。今のところ大きな反対意見は聞いていない。ただ、まだ意見交換会を実施していないので、わからないところはあるが、早野中は学区が東西に広いので、富士見中が近い生徒もいるのではないか。保護者の意見も吸い上げて協議していくべき。

委員：人数が少なくなっているのを感じた。小学校と違い、学区の見直しという視点もある。統合を進めるのなら地域住民や保護者の意見を聞く場を設けて進めることが大切だろう。

議長：五郷地区の説明会の日時はいつか。

事務局：10月3日（土）を予定しています。

委員：10月3日の意見交換会で出た意見を聞いてからでないと。

委員：話を戻すようだが、優先順位は、1（本納小・新治小）の次は、早野中か鶴枝小と考えている。早野中を南中につけるか、富士見中へつけるかという話もあつ

たが、人数的には富士見中と南中は市内では1番目と2番目の人数である。南中に早野中がつくと600人位になり、富士見中の400人を優に超す。本納中は200人位であるし、ここまで差が出ていいものかというのが一つ。それならば、南中と富士見中から少し分けていただいて早野中の人数を確保するという方法もあるかと思うが、ここで西小と鶴枝小の問題が出てくる。

委員：本日は2（本納小・豊岡小）の結論を出すべきでは。地域をゴリ押しするようなまとめ方は出せない。

議長：何のために学校再編をするのかということ。大事なことは各小学校の人数、地域の人の意見を聞き、納得していただけるようにわかりやすい言葉で説明するようにして皆様方の賛同を得る、それが子どもたちのためにも繋がっていくということを確認しあったことと思います。

委員：時期がいつかを目途にして投げかけるべきだとも思う。ある程度明確にして意見をもらった方がいいのではと思う。いつかだと検討しづらい。

議長：保護者の意向調査、推計の見直しも必要ではないかとも思うが。

委員：令和7年度の実施計画でどこまで進めるか。第一次実施計画が本納の3小学校は第二次実施計画期間内での統合を目指すとしている。生徒数の推計を見ると、中学校の場合だと早野中は令和7年に128人、今と比べると大きく減る。1学年は大体42人位になると思うが、そうすると学級が1クラスということが考えられる。中学校でクラス替えがなかったりすると、やはり学校運営上好ましくない。時期については、第二次実施計画が令和7年までとしているから、できるだけ早くということで、新治小と本納小と同じとまではいかないまでも、令和5年から令和6年におさえてもいいかもしれない。また、早野中の説明会は初めてだと思うので、そういったことも大切だろう。

事務局：今回は3小学校をこういうふうに統合すべきだという意見をいただいております。まずは新治小と本納小を統合すべき、そのあとは豊岡小を統合すべき。南中の校舎を使い、早野中と統合すべき。五郷小、西小、鶴枝小につきましても、ご意見をいただいております、このご意見をいただいた中で、今日の審議は統合時期はいつかという審議内容でありますのでご提案させていただきました。地域の方の意見を参考にしてからでも構いませんので、統合すべきものは統合すべき、時期をいつにするかということとなります。

委員：基本方針は変わらないが、今日この場で2（本納小・豊岡小）と3（早野中・南中）は決められないという考え方です。意見交換会の後でないとい

5 その他 特になし

6 閉会 16時45分